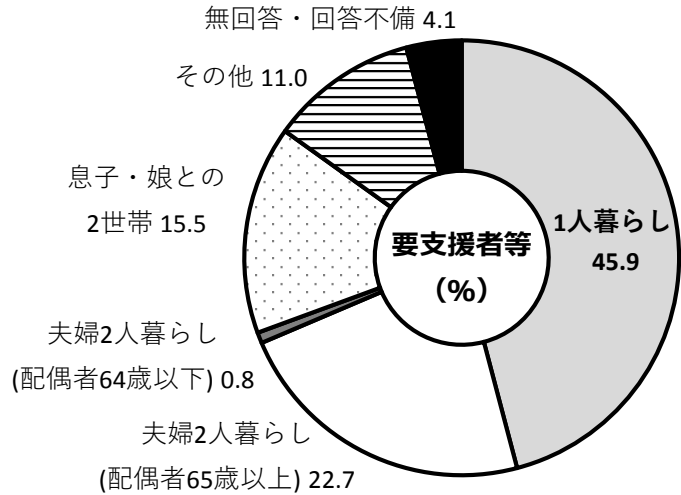
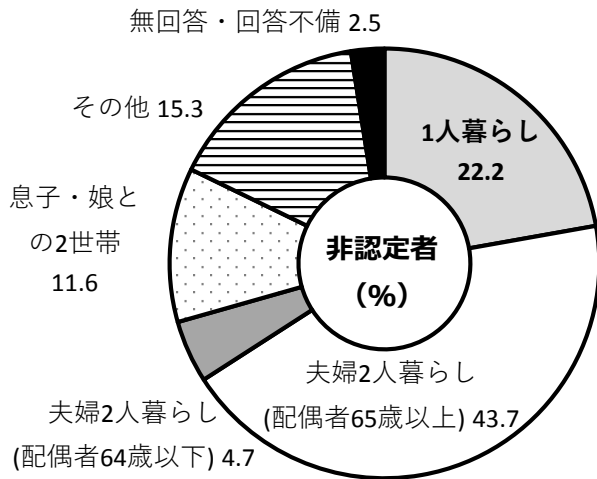


2 高齢者の健康と生活の状況

(1) 家族構成

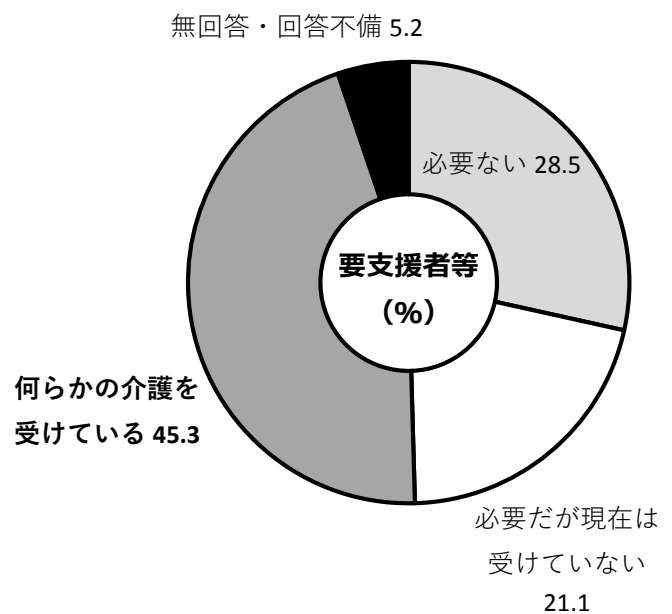
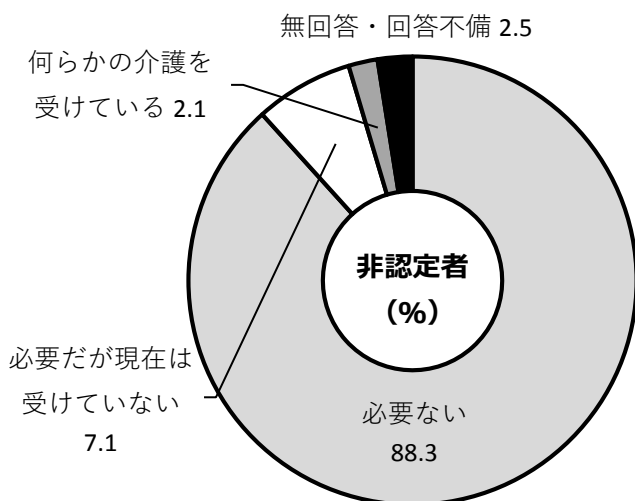
非認定者の約2割，要支援者等の約5割が，1人暮らしと回答しています。

また，非認定者，要支援者ともに約7割が高齢者のみの世帯と回答しています。



(2) 普段の生活で介護・介助が必要か

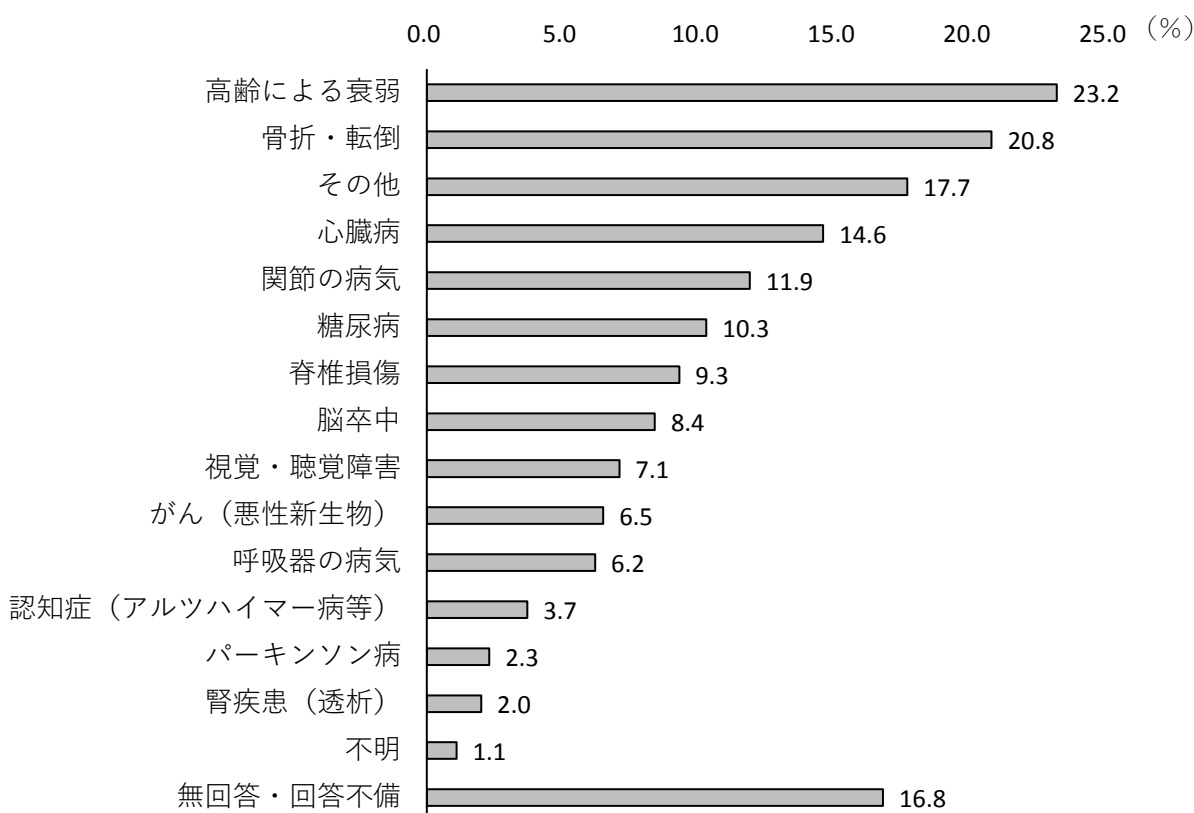
要支援者等の約5割が，何らかの介護を受けていると回答しています。



※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

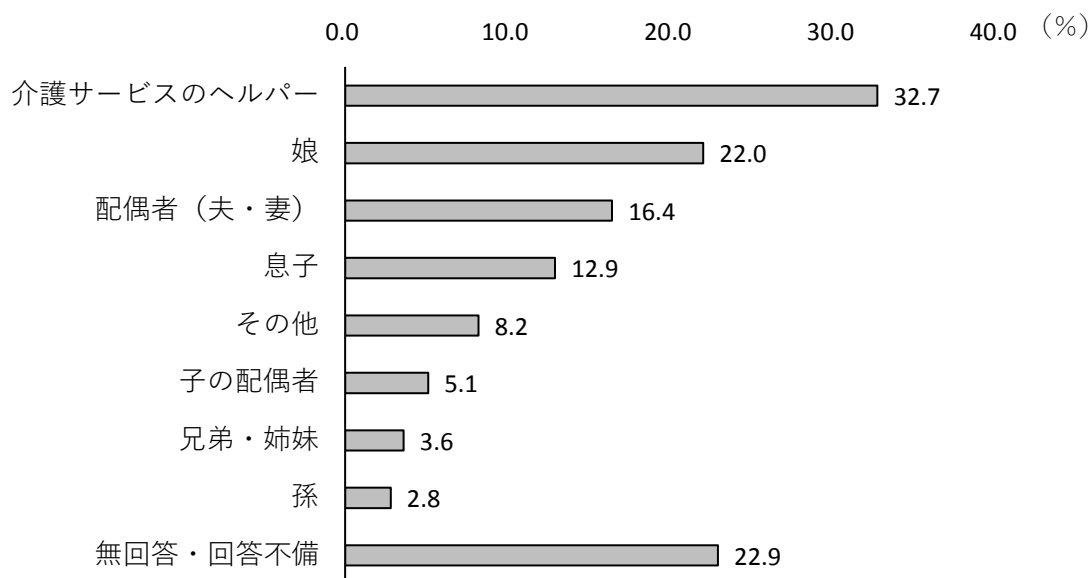
(3) 要支援者等が介護・介助が必要になった主な原因

高齢による衰弱が最も高く、次いで骨折・転倒が高くなっています。



(4) 要支援者等は主に誰から介護・介助を受けているのか

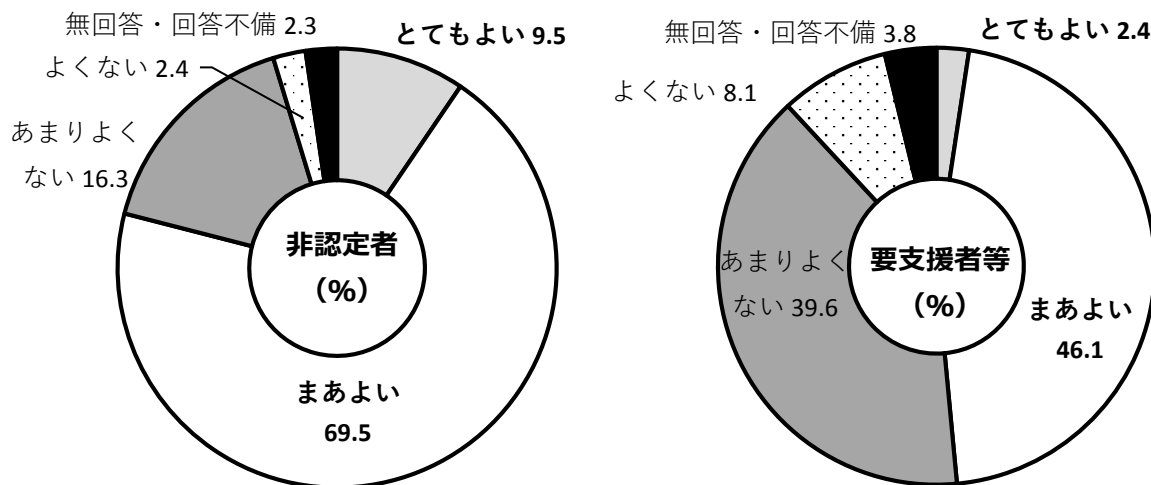
介護サービスのヘルパーが最も高く、次いで娘が高くなっています。



※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

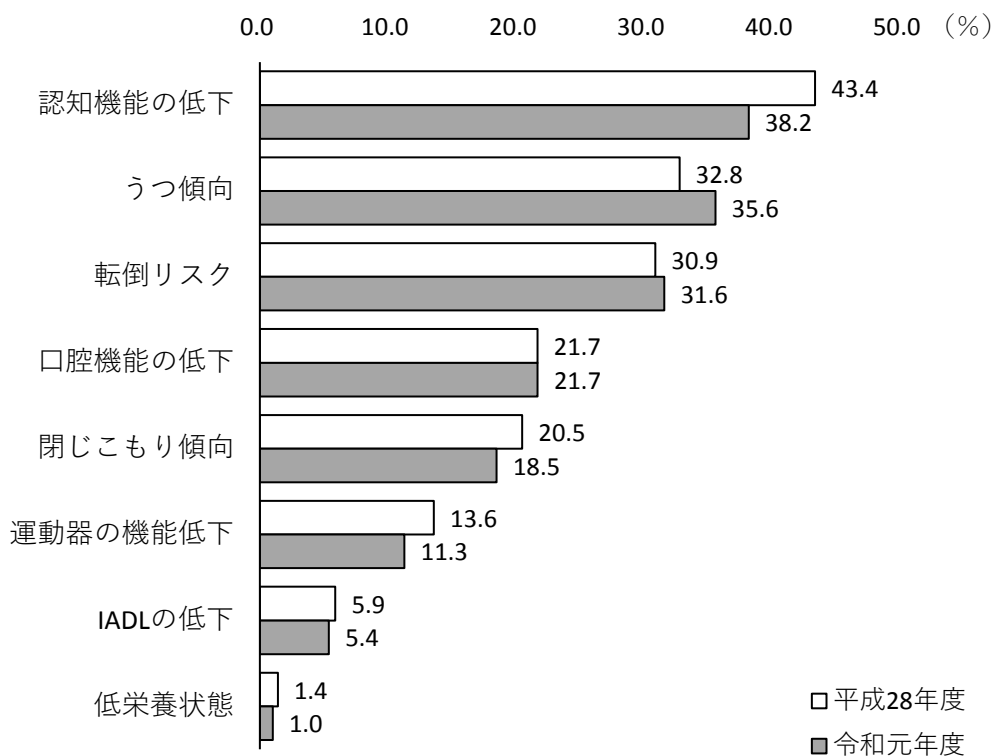
(5) 主観的健康観

非認定者の約8割，要支援者等の約5割が，「とてもよい」，「まあよい」と回答しています。



(6) 非認定者の身体機能等の低下リスクの該当状況

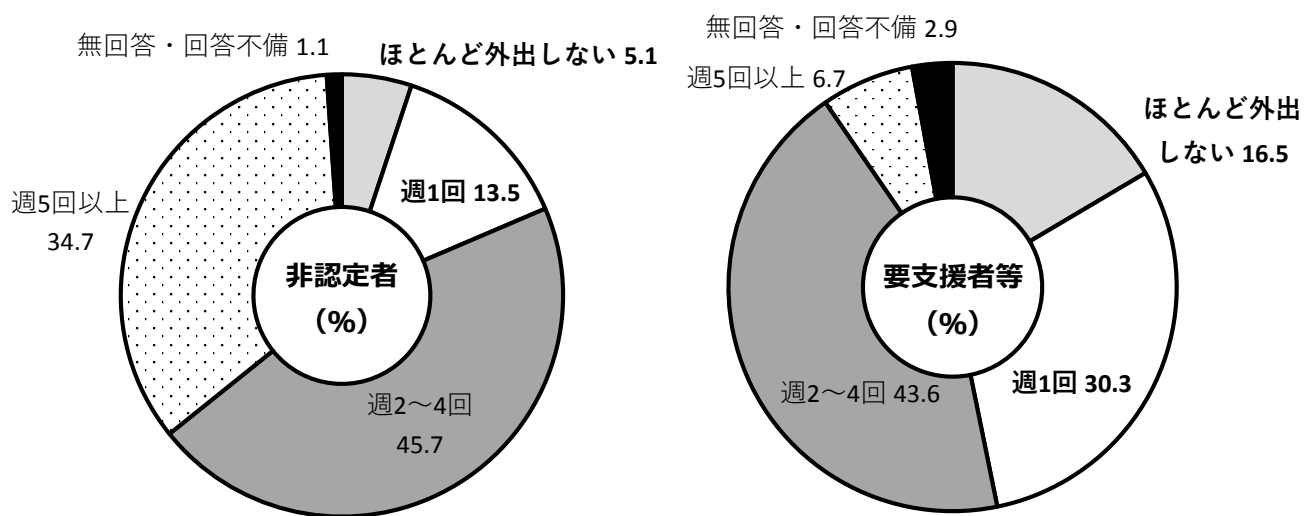
「認知機能の低下」が最も高く，次いで「うつ傾向」が高くなっています。また，各リスク項目に該当する人の割合が平成28年度より，やや低下しています。



※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

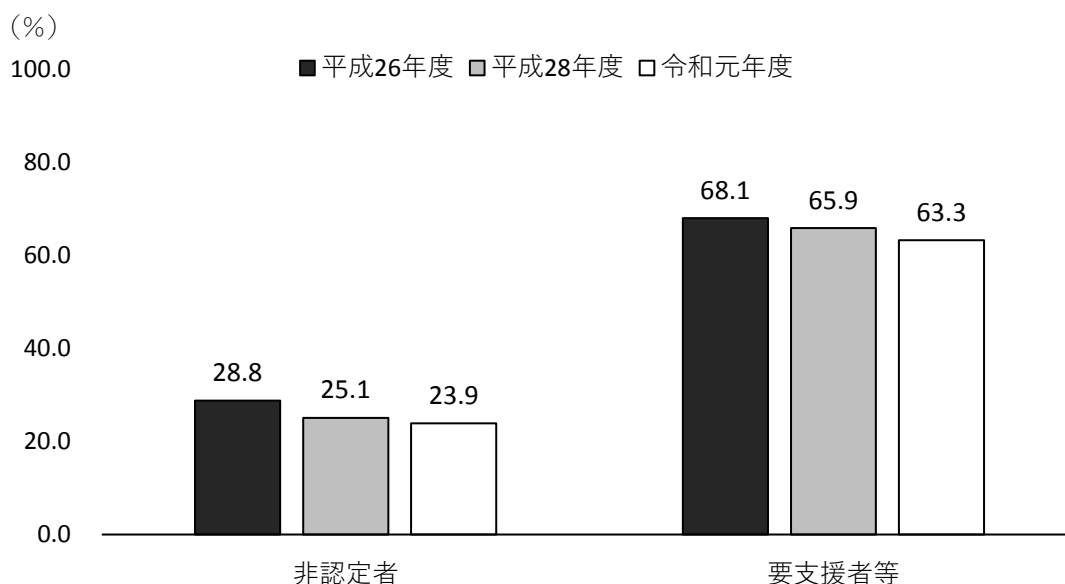
(7) 外出の頻度

非認定者の約2割，要支援者等の約5割が，週に1回以下の外出です。



(8) 調査の前の年に比べて外出の回数は減っているか

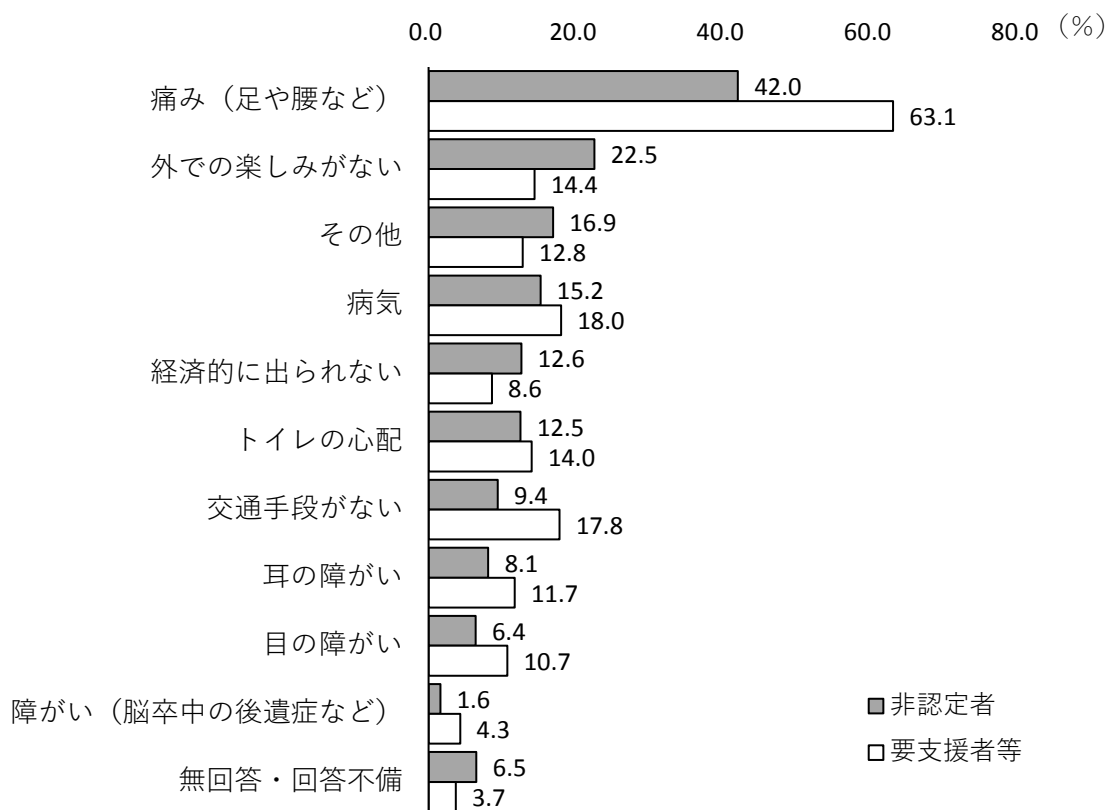
非認定者，要支援者等ともに外出の回数が減っている高齢者の割合は減少傾向であるものの，非認定者の約2割，要支援者等の約6割が，減っていると回答しています。



※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

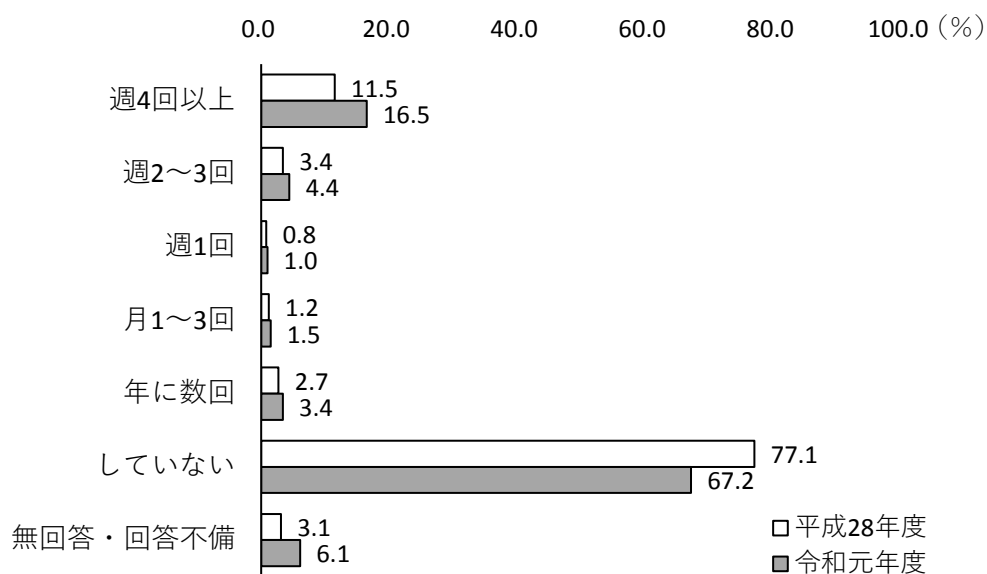
(9) 外出の回数が減っている理由

非認定者，要支援者等ともに「痛み」が最も高く，次いで非認定者は「外での楽しみがない」，要支援者等は「病気」が高くなっています。



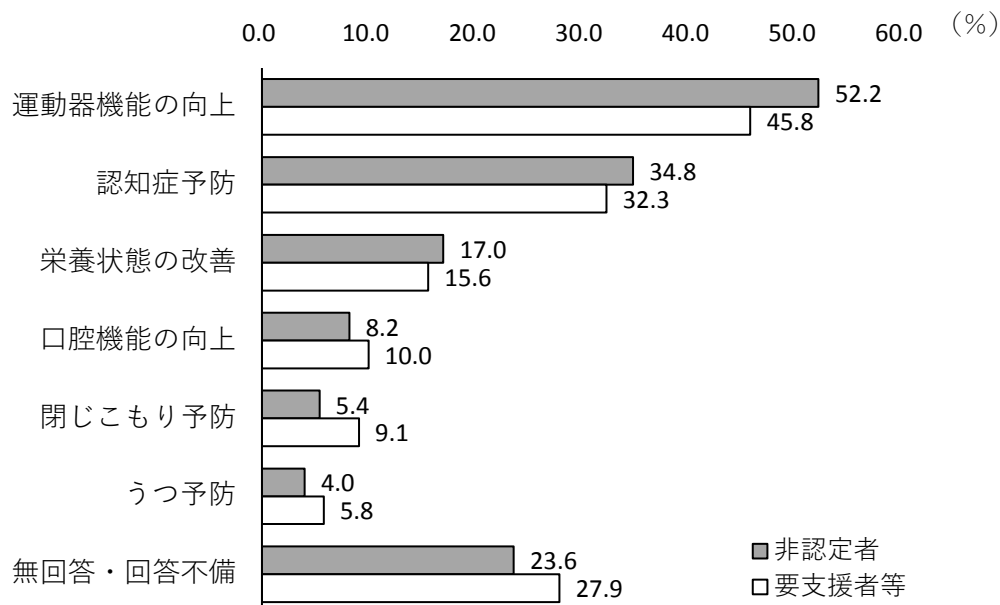
(10) 非認定者の収入のある仕事の頻度

仕事をしている非認定者の割合がいずれの区分でも増加傾向です。



(11) 興味がある健康教室や介護予防の取り組み

非認定者，要支援者等ともに「運動器機能の向上」が最も高く，次いで「認知症予防」が高くなっています。

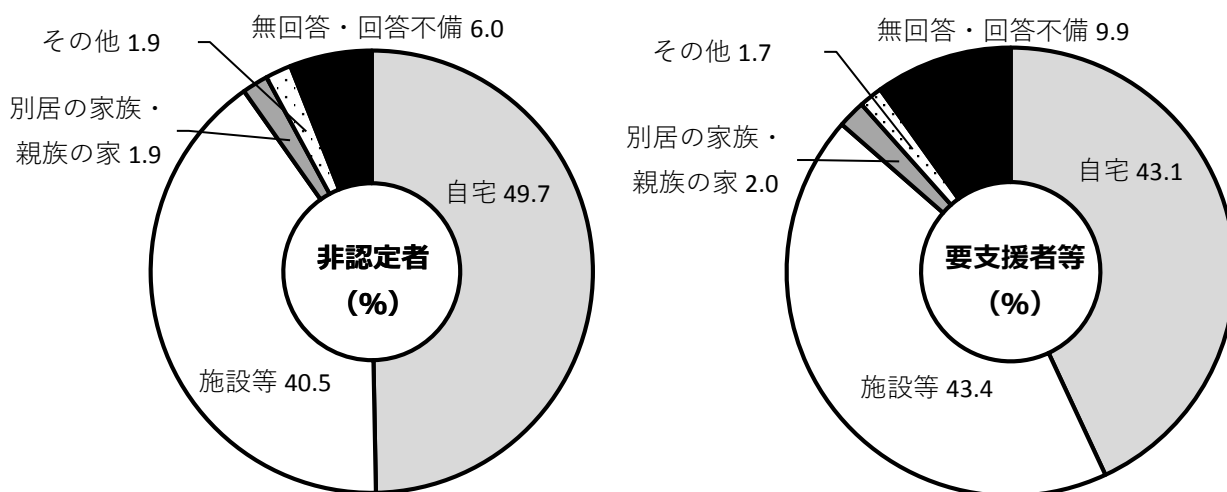


(12) 将来，介護が必要になった場合にどこで生活したいか

非認定者の約5割が自宅，約4割が施設等と回答しています。

要支援者等の約4割が自宅，施設等と回答しており，ほぼ拮抗しています。

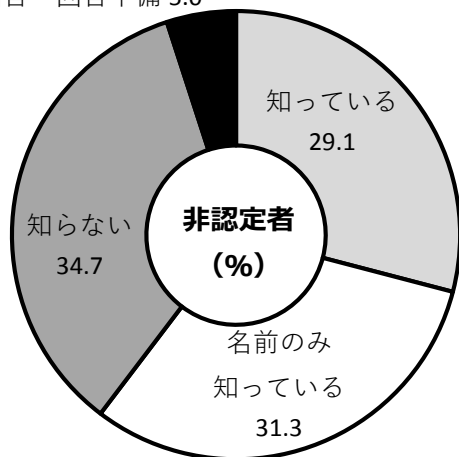
非認定者，要支援者等のいずれも，別居の家族・親族の家は少ないことが伺えます。



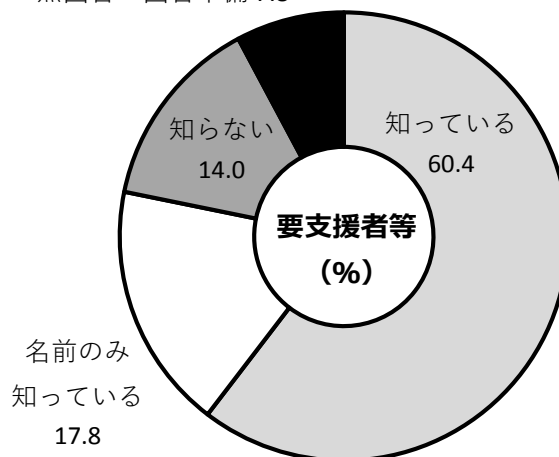
(13) 地域包括支援センターの役割を知っているか

非認定者の約3割、要支援者等の約6割が、「知っている」と回答している一方で、非認定者の約3割、要支援者等の約1割が、「知らない」と答えています。

無回答・回答不備 5.0



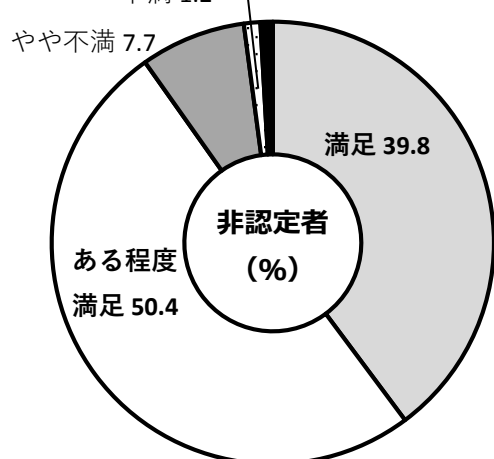
無回答・回答不備 7.8



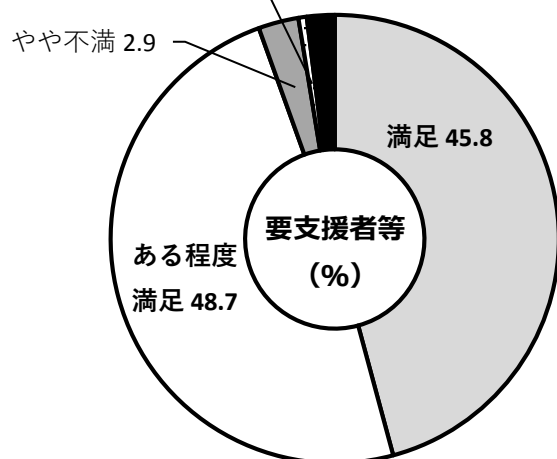
(14) 包括支援センターを利用、相談してみても、どの程度満足したか

非認定者と要支援者の約9割が、「満足」、「ある程度満足」と回答しています。

不満 1.2 無回答・回答不備 0.9



不満 0.6 無回答・回答不備 2.0



※出典：令和元年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査